

実施日：11月13日（木）	
教科等：家庭科	
取組名：命の大切さ、尊さについて	
対 象：第3学年	実施場所：体育館
ア ねらい 赤ちゃん先生と探究学習を進める中で、命の大切さ、尊さについて考えを深め、自他を思いやる心を育む。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 導 入 赤ちゃん先生、ママディレクター入場 自己紹介 グループ分けをして自己紹介をする。 「最近できるようになったこと」を紹介する。 展開① グループで赤ちゃん先生と活動をする。 担当：ママディレクター ・ 大きさ比べ ・ 1日の生活の話 ・ プチ育児体験 展開② 赤ちゃん先生と手遊び 生徒主導で各グループの赤ちゃんと手遊びをして交流する。 展開③ 感想を共有する。 赤ちゃん先生との触れ合いの中で感じたことや気付いたことなどを交流する。 展開④ 歌「まあいいのち」合唱 赤ちゃん先生、ママディレクターと歌を歌う。 まとめ 赤ちゃん先生退場 赤ちゃん先生、ママディレクターが退場する。教室に戻り、本日の体験の感想をフォームで入力する。	
ウ 連携先：家庭 ママの働き方応援隊 高砂校	
エ 連携にむけての取組 事前に打ち合わせをし、生徒一人ひとりに命の大切さが学べる機会となるように打合せをした。カリキュラムも「まあいいのち」の歌を取り入れ、命にふれ、心温まる時間となるように工夫をしていただいた。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 事前の打合せでどのようなカリキュラムにするかを検討した。生徒は感想をフォームで入力し、学習後のアンケートを実施した。	
カ 評価の方法 ・ 感想 ・ アンケート	
キ 成果 赤ちゃんに触れ、多くの生徒に笑顔が見られた。自分の成長に気付き、自分も同じように育ててもらっている感謝の気持ちと、命の尊さを育むことができた。	
ク 課題 他を思いやる気持ちは赤ちゃん先生から多くの生徒が育むことができた。他を思いやるだけでなく、自分も大切にすることを学ばせることが課題だと感じた。それを学ぶには親の思いを知ることが大切であり、今回はママディレクターのお話の中で、自分の命も大切に育てられてきたことに気付かせることができた。赤ちゃん先生だけでなく、ママディレクターとの対話の時間も活かしていきたい。	